

令和4年10月2日

## 報告書

令和4年9月24日(土)復帰後、安定していた圧力でありました。  
令和4年9月30日(金)の警察の現場検証に伴いテスト起動を行った後、  
翌日10月1日(土) (0.62Mpa)急激な圧力低下がみられ  
1系統と3系統テストバルブ・一斉開放弁止水弁のバルブを締め18:00 帰社、  
翌10月2日(日) AM7:00 過ぎポンプ起動の連絡にて急行し一斉開放弁3系統でのリーク  
が見られました。  
これは一斉開放弁・止水弁に不純物(砂か?)が挟み込まれ、その隙間よりリークしていること  
により減圧し基準以下に達しポンプ起動したと思われま

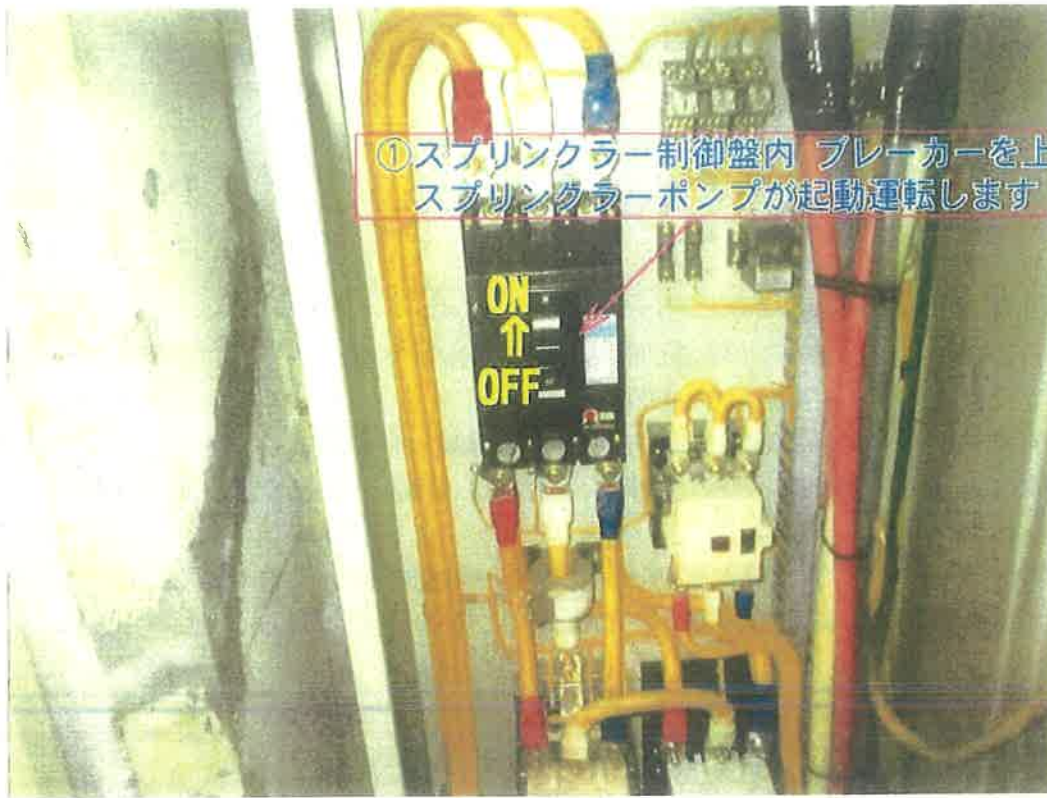
この事よりポンプの常時圧力状態にはできない為、ポンプ2次側は、通常の状態でおき  
ポンプ制御盤内で電源を切り、過度な圧力での2次災害防止を図ります。  
非常時は、電源を立ち上げ手動操作バルブの系統操作により放水できるものとさせて頂きま  
した。

以上です。

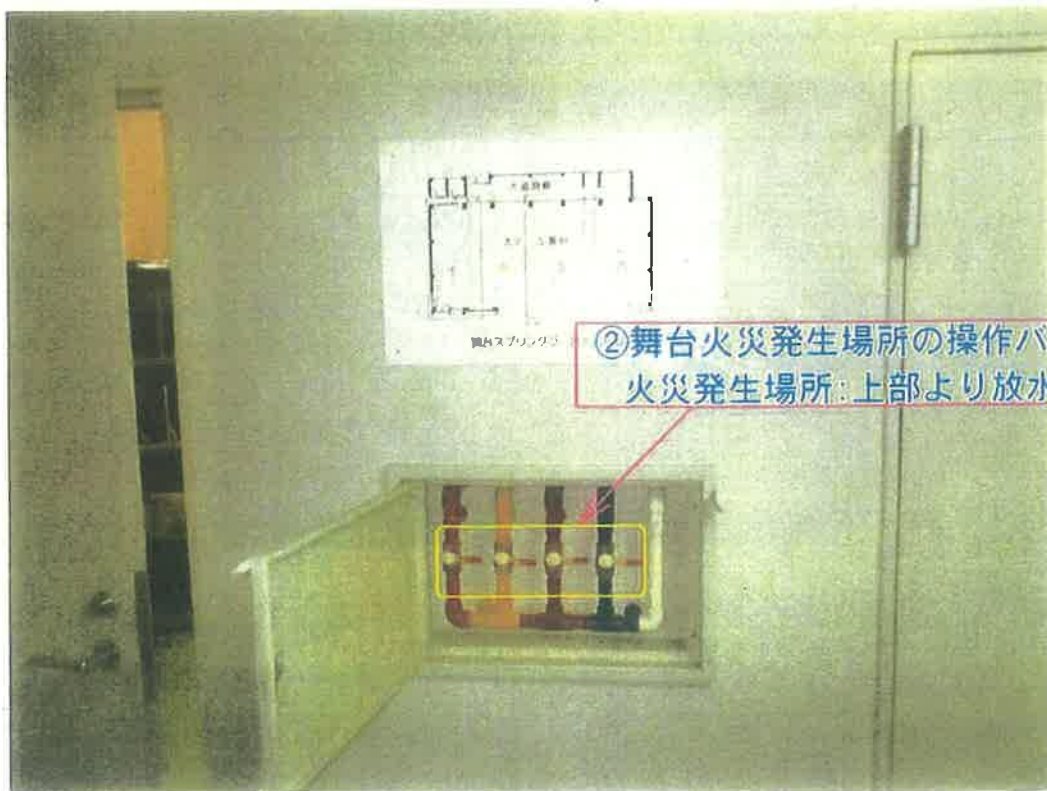


令和4年10月2日  
ニッセー防災株式会社

裾野市民文化センター大ホール舞台部  
スプリンクラー放水操作方法



①スプリンクラー制御盤内 ブレーカーを上にあげONにする  
スプリンクラーポンプが起動運転します



②舞台火災発生場所の操作バルブを開放します  
火災発生場所: 上部より放水が始まります

鎮火後①スプリンクラー ブレーカーを下げOFFにする